

# いざ！大阪へ！



第44回 数学的な授業を創る会 横浜支部

新算研全国大会指導案検討

8月31日（日） 教育会館

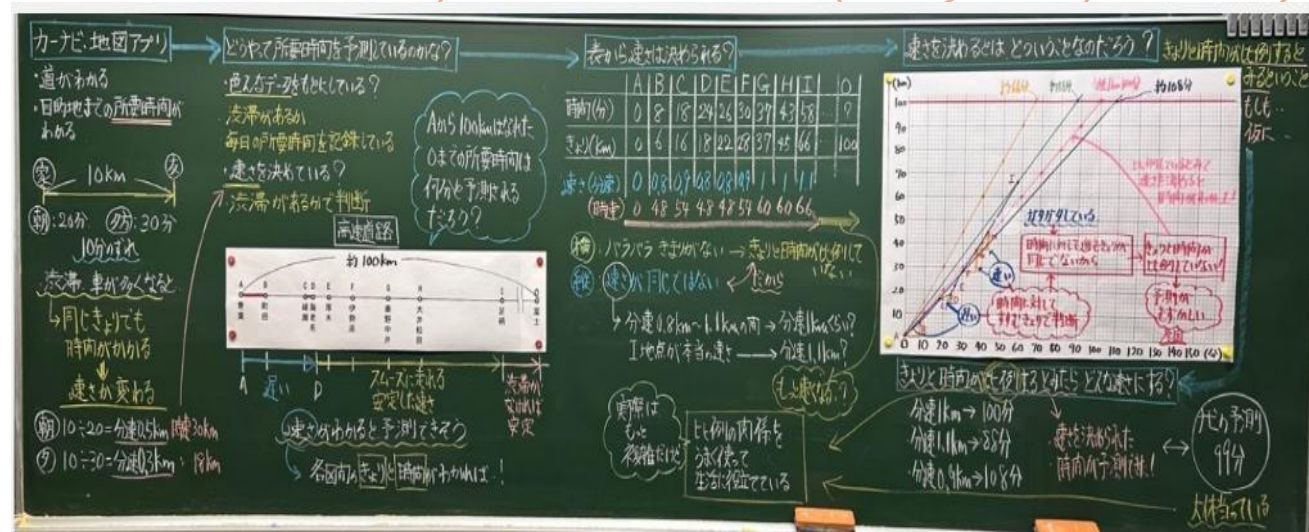


## 関数の考えを通して比例の価値に気付く学び

## 第6学年「比例」

関数の考えを通し、比例の価値を見いだす学びのために

- (a)二つの数量や事象の間の依存関係を考察し、ある数量が  
他のどんな数量と関係付けられるのかを明らかにすること
- (b)伴って変わる二つの数量について対応や変化の特徴を明らかにすること
- (c)二つの数量の間の関係や変化の特徴を問題解決において利用すること

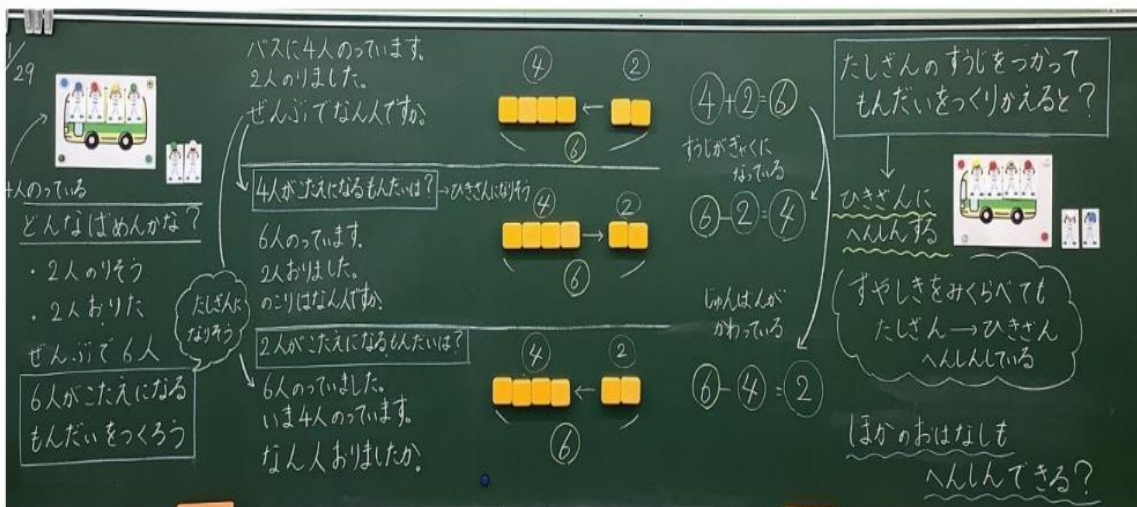


**図や式、言葉をもとに、数量の関係に着目しながら、**

## たし算とひき算の関係を考察する授業の在り方

## 第1学年「どんなけいさんになるのかな」

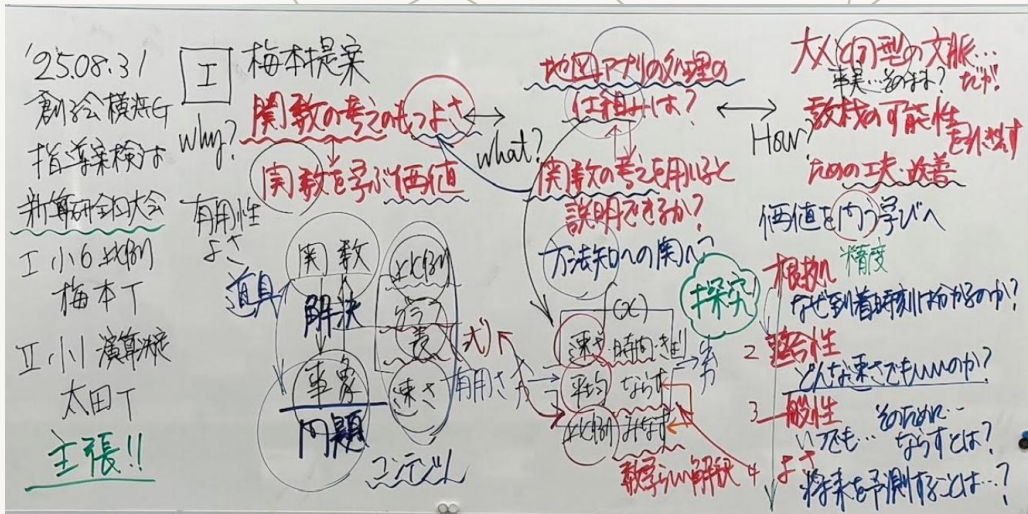
図に表すことによって、考え方を説明する根拠にできたり、数学的な構造を明らかにしたり、考えをイメージ化、視覚化したりして伝えることができるようになるために



太田博英



# 授業者の主張が大事！検討すべきは主張の整合性！



より関数の考えがもつ「よさ」が問える授業へ

地図アプリの処理の仕組み（速さ、平均、比例としてみなすなど）は関数の考えを用いると説明できる！その展開の中に「価値を問う」。根拠、整合性、一般性、そしてよさを問う。そんな学びなる本時へ。

統合ではなく、事象を見いだす視点で

三項の関係で統合しようとするのではなく、正しく演算決定する子の育成を。具体から事象を数学的に捉え、どんな式になるかなど数学の問題を見いだすことができるようにする。そしてなぜその式でいいのかを問い、その根拠を示すことができるようにする。それが場面が変わってもできるような展開を。

